

平成 25 年 1 月 30 日

各 位

木津の文化財と緑を守る会  
会 長 岩 井 照 芳

## 2・3月の行事案内

拝啓 大寒の候皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「鹿背山城何でも知ろう」講座が始まり、第1回の講演会は終了致しました。参加者は城郭を研究しておられる方、最近木津に移転されてきた方、南山城地域の方や奈良市の方々、遠くは岐阜県からの参加者もあり、守る会会員合わせて50名の参加でした。これまで鹿背山城の講演はどの先生方の内容も全て城郭史からみた鹿背山城の話でしたが、今回はじめて地域史・興福寺史からみた鹿背山城の内容でありました。

さて、話は『木津城の名称』のことに変わりますが、1月の広報「きづかわ」の最後の頁に、～木津城址（最近は城址ではなく城跡と書きますが・・・）公園にみんなで桜を植えよう～との記事が掲載していました。

25年以上前から講演や現地見学会で言い続けてるのですが、木津東山にある山城名は「木津城跡」ではないので、木津城跡公園と付ければ間違いです。

京都府が昭和45年最初に名付けた名称が間違っていたのです。現在はまだほとんどの方が名称の事は勿論、城跡の存在すら知らない状況ですが、今後公園名になればみんなが使うようになり「間違った名称」が「本当の名称」のようになり、名称が周知した場合変更が非常に困難になり取り返しがつかなくなります。

史料に出てくる「木津城」は、木津本町（旭住宅や南・北大路町及び1・2丁目辺り）にあった平城で、三好政康や香西の兵士3,000人が入城した大きな城です。

場所を示す史料として、木津城南口の戦いがあります。天神川原の戦いともいわれ、天神川原の場所は現在のいづみホール南側の163号線信号付近を指します。天神川原の地名を記した絵図もあります。（天神川原を木津町史掲載の写真では八色を撮っておりますが間違いです。八色は近くに天神社があり城戸町と言いますが、城戸の本来の名前は十王堂といい、じゅうおうどう じょうど（城戸）に転化した地名です。城戸という地名は城とは全く関係ない仏教施設から来た地名です）木津城南口の戦いからも、本町に存在したことは間違いありません。他にもいろいろ史料や理由（木津氏の格式や勢力から見る）がありますが頁の都合で次の機会にでも・・・。

また、JR木津駅東の山城、通称「城山」が、本町にあった木津城（平城）の詰めの城という人がいますが、木津氏は興福寺の衆徒（筒井氏・古市氏と同格）という高い格式と大きな勢力を持った実力から見れば、一辺が50m～60mの単郭方形（曲輪が一つで四角形）の城では詰めの城として小さすぎます。また平城の木津城との距離が離れすぎています。

それでは何の目的で造られたのでしょうか。この城は木津川の上<sup>うえのわた</sup>渡しや上津路（市坂幣羅坂から釜ヶ谷を通り木津川に至る路をいう。興福寺の寺務はこの路を京都への往復のルートに使用しなければならないと決まっている）という重要な街道・**釜ヶ谷**（木津高東側の谷）を抑えるための目的で造られた「抑えや見張り」の城であると思います。

さすれば、何という名前の城だったのでしょうか。史料からピンポイントで明確に言える名称は出てきませんが、興福寺の六法・衆徒・国民が木津を攻めた時、木津氏らは木津城を放棄し「一庄悉逃散し、**上野山**も取り云々」。（大乘院寺社雑事記）木津氏が松永久秀方から將軍義昭方に寝返ったので木津城を攻めるために、「三好義継、松永久秀は木津之**上之山**ニ野陣也」（多聞院日記）と記されています。

木津庄には山が少なく丘陵地域は釜ヶ谷を挟む丘陵と梅谷地域だけです。このことから考えても、上野山もしくは上之山を指す場所はJR東側の城山以外に比定するところはなく、城の名称は上野山城もしくは上之山城で間違いはないでしょう。

公園の名称に城の名を付けるのであれば、上之山城とすべきでしょうがこの城名は全国に多くあるため、「木津**上野山**城跡公園」か「木津**上之山**城跡公園」にすべきで、少なくとも木津城ではないため、絶対木津城跡公園と付けるべきではないと思います。

#### **ホームページ開設のお知らせ**

木津の文化財と緑を守る会のホームページを再度立ち上げました。  
是非一度ホームページを開いて下さい。

#### 記

- 2月2日（土） 第43回 『木津乗合船を読む会』  
講師 石川 真弘 先生（大阪樟蔭女子大学名誉教授）  
場所等 山城郷土資料館3階 13時30分～16時30分  
参加費 200円（問い合わせ先：山城郷土資料館 86-5199）
- 2月9日（土） 第173回 鹿背山城何でも城う（知ろう）会 （城の整備）  
場所時間 西念寺 9時～15時頃  
服装 作業する服装 弁当水筒持参
- 2月10日（日） 「鹿背山城なんでも知ろう」講座  
第2回 城見学会（講座参加者は必修）  
集合場所 JR木津駅バス停前 プロジェクトメンバー9時30分集合  
時間 午前10時～15時30分（受付開始9時30分）  
スケジュール 10時～ 見学会の説明  
10時10分～ 鹿背山会館へ徒歩 途中遺跡を案内

- 11 時～ 鹿背山城見学  
 15 時 30 分～ **鹿背山会館に全員集合の上現地解散**
- その他 詳しくは役割分担表をお読みください
- 2 月 17 日 (日) 「鹿背山城なんでも知ろう」講座 第 2 回 城見学会予備日  
 2 月 10 日 (日) 雨天で中止場合の予備日
- 2 月 23 日 (土) 木津川市文化協会発表会 講演会  
 演 題 「鹿背山城の城主と防御施設」  
 講 師 岩井照芳 (木津の文化財と緑を守る会々長)  
 時 間 10 時から  
 場 所 いずみホール
- 2 月 24 日 (日) 第 174 回 鹿背山城何でも城う (知ろう) 会 (城の整備)  
 場所時間 西念寺 9 時～15 時頃  
 服 装 作業する服装 弁当水筒持参
- 3 月 2 日 (土) 第 44 回 『木津乗合船を読む会』  
 講 師 石川 真弘 先生 (大阪樟蔭女子大学名誉教授)  
 場所等 山城郷土資料館 3 階 13 時 30 分～16 時 30 分  
 参加費 200 円 (問い合わせ先: 山城郷土資料館 86 - 5199)
- 3 月 2 日 (土) 第 125 回 『木津町史史料篇を読む集い』  
 講 師 田中 淳一郎 先生 (山城郷土資料館)  
 時 間 19 時 30 分～21 時 30 分頃  
 場 所 庁舎北別館 2 階会議室  
 その他 参加費 300 円 町史史料篇 をお持ちの方はご持参下さい。
- 3 月 3 日 (日) 「鹿背山城なんでも知ろう」講座 第 3 回 城整備  
 集合場所 西念寺 プロジェクトメンバー 9 時集合  
 時 間 受付開始 9 時 30 分  
 スケジュール 9 時 30 分～ 城整備の説明  
 9 時 40 分～ 午前の城整備  
 12 時～ 昼食  
 13 時～ 午後の城整備  
 15 時 **西念寺に全員集合の上現地解散**

- 3月16日(土) 第175回 鹿背山城何でも城う(知ろう)会 (城の整備)  
 場所時間 西念寺 9時~15時頃  
 服装 作業する服装 弁当水筒持参
- 3月24日(日) 歴史探訪「周山城の講演と現地見学会」  
1月14日(日)雨天中止のため改めて再募集致します  
 演題 『周山城の歴史と城主』  
 講師 中井 均 先生(滋賀県立大学准教授)  
 見学先 周山城(京都市右京区京北周山町)  
 集合場所 JR木津駅 8時15分集合(学研都市線に乗車)  
 近鉄山田川駅 8時15分集合(8時21分発乗車)  
 参加費 会員600円、非会員1,000円(交通費は自己負担)  
 定員 30名  
 締申込切 会員は優先募集2月1日~3月19日(金)までにお申込下さい  
 一般募集 3月2日~3月19日(火)までにお申込下さい  
 申込先 Faxのみ受付71-8131(守る会宛)名前・電話FAXと駅名記入  
 問合せ先 Faxのみ受付71-8131(守る会宛)名前・電話・問合せ内容を記入  
 その他 弁当・水筒持参、ハイキングの服装、前日予報が降雨率50%で中止  
1月14日の分で申込済であった方でも再度お申込下さい
- 3月30日(土) 役員会議 24年度反省 25年度会務案  
 時間 13時30分~16時30分  
 場所 庁舎北別館  
 議題 24年度反省 25年度会務案  
 出席役員 下記の24年度役員は出席して下さい(欠席の場合は必ず岩井まで  
 72-0014 電話又はFAXでご連絡下さい)  
 会長 岩井照芳 会計 山本正来 事務局長 谷口克己  
 顧問 石田達雄 顧問 北山秀明 幹事 青木幸彦  
 幹事 内田照男 幹事 河原勝彦 幹事 高野広彦  
 幹事 伝宝茂 幹事 平瀬義治 幹事 札葉泰彦  
 幹事 森田省三 幹事 八木和代 幹事 吉田治平

尚、必要に応じて 鹿背山城プロジェクトチーム会議「地域力再生プロジェクト支援事業」を開催致しますので、プロジェクトチーム参加者は出席して下さい。